



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 黒田精工

上場取引所 東

コード番号 7726

URL <http://www.kuroda-precision.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 黒田 浩史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 荻窪 康裕

TEL 044-555-3800

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,489	14.0	△269	—	△108	—	1,084	—
25年3月期第3四半期	7,444	△16.0	65	△85.5	181	△67.5	△240	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,520百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △250百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
26年3月期第3四半期	38.63	—	
25年3月期第3四半期	△8.55	—	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
26年3月期第3四半期	18,171	—	8,273	—	44.4	—	287.53	
25年3月期	18,384	—	6,780	—	35.8	—	234.45	

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 8,069百万円 25年3月期 6,580百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	1.00	1.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	18.4	△50	—	80	△67.0	1,200	—	42.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	28,100,000 株	25年3月期	28,100,000 株
26年3月期3Q	35,133 株	25年3月期	32,318 株
26年3月期3Q	28,065,037 株	25年3月期3Q	28,068,121 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による財政・金融政策の効果により回復基調で推移いたしました。こうした中、当社グループの業績は徐々に回復基調となり、第3四半期連結会計期間の売上高は3,060百万円（第2四半期連結会計期間の売上高2,829百万円）と対前四半期比8.2%増加し、経常利益78百万円を計上することができました。

第3四半期連結累計期間では、前連結会計年度に行なった欧州企業の買収により受注高は8,756百万円（前年同期比1,140百万円、15.0%増）、売上高は8,489百万円（前年同期比1,045百万円、14.0%増）と拡大基調が続きましたが、利益面に関しては第2四半期連結累計期間までの単体収益の大幅な落ち込みに加え、前年同期に比較して持分法投資利益が31百万円減少したこと等が影響し、経常損失108百万円（前年同期は経常利益181百万円）となりました。特別損益に関しては、ツーリングの事業構造改革と事業譲渡損失を合わせた159百万円、金型のクレーム対策費用67百万円をそれぞれ特別損失として計上した一方、本社固定資産の譲渡による特別利益1,284百万円を計上した結果、四半期純利益は1,084百万円（前年同期は四半期純損失240百万円）となりました。

第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は以下のとおりです。

なお、下記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

#### ○駆動システム

連結ベースでは前連結会計年度に行なった欧州企業の買収の効果に加え市況の回復により、受注高3,728百万円（前年同期比1,169百万円、45.7%増）、売上高3,678百万円（前年同期比947百万円、34.7%増）の結果となりました。利益面に関しても低迷が続いていた国内半導体市場も回復基調となり、単体損益の営業利益回復に加えて企業買収に伴う子会社の利益貢献により、営業利益115百万円（前年同期比73百万円、176.3%増）の計上となりました。

#### ○金型システム

自動車のモデルチェンジの狭間にあつたハイブリッド自動車用モーターコアが第3四半期連結会計期間より活況となってまいりましたが、当期における利益面での貢献は限定的であったことに加えて、金型関連事業の海外子会社の損失拡大や減益が影響し、受注高2,075百万円（前年同期比113百万円、5.2%減）、売上高2,103百万円（前年同期比33百万円、1.6%増）、営業損失226百万円（前年同期は営業利益1百万円）の結果となりました。

#### ○機工・計測システム

欧州企業買収効果に加え、自動車業界向け市況の回復等に伴い、当セグメントの受注高2,964百万円（前年同期比67百万円、2.3%増）、売上高2,719百万円（前年同期比46百万円、1.7%増）の結果となったものの、半導体・液晶パネル需要の冷え込みによる超精密表面形状測定装置（当社商品名：ナノメトロ）の受注・売上が減少したことに加えて、小型工作機械の市況低迷の影響による単体の損失計上の影響が大きく、営業損失126百万円（前年同期は営業損失34百万円）の結果となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は18,171百万円となり、前連結会計年度末と比較して213百万円減少しました。これは流動資産が838百万円増加したものの、本社固定資産売却等により固定資産が1,052百万円減少したことによるものです。

負債合計額は9,898百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,705百万円減少しました。これは前期に行なった欧州企業買収資金のためのブリッジローン返済1,800百万円を含む短期借入金の減少2,527百万円を主因として流動負債が2,184百万円減少したことによります。一方で、ブリッジローンの長期振替等により長期借入金が852百万円増加したことに対して、本社固定資産売却に伴う再評価に係わる繰延税金負債が310百万円減少したことを主因として固定負債が479百万円増加いたしました。

また、当第3四半期連結会計期間末の純資産は8,273百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,492百万円増加しました。これは本社固定資産売却益1,284百万円を主因とするものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期業績予想につきましては、前回公表（平成25年11月14日）の業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結会社は、有形固定資産の工具、器具及び備品のうち金型について、第1四半期連結会計期間より、減価償却の方法を従来の定率法から定額法へ変更しております。

この変更は新規受注の増加により、金型の製作費用が増加し重要性が増していることから、当該金型代金相当額の取引条件（一定期間内均等受取）に対応させて減価償却を行うことで、従来の減価償却方法によった場合に比較して、より適正な期間損益を算定することを目的としたものであります。

これにより、従来の方法によった場合と比べ当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失は42,372千円減少し、また税金等調整前四半期純利益は同額増加しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,973,587	2,285,190
受取手形及び売掛金	2,399,341	2,818,420
商品及び製品	609,136	431,229
仕掛品	1,243,827	1,341,036
原材料及び貯蔵品	510,874	520,786
その他	389,778	569,972
貸倒引当金	15,684	16,926
流動資産合計	7,110,861	7,949,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,850,698	2,709,233
土地	3,231,169	2,001,433
その他（純額）	1,775,856	1,708,582
有形固定資産合計	7,857,723	6,419,249
無形固定資産		
のれん	1,325,376	1,480,120
その他	124,868	153,841
無形固定資産合計	1,450,244	1,633,961
投資その他の資産		
投資有価証券	1,287,324	1,528,396
その他	679,758	641,448
貸倒引当金	1,271	1,349
投資その他の資産合計	1,965,811	2,168,495
固定資産合計	11,273,779	10,221,707
資産合計	18,384,640	18,171,416

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,939,864	2,281,348
短期借入金	4,151,895	1,624,765
未払法人税等	35,476	51,203
賞与引当金	144,807	65,985
その他	736,659	800,644
流動負債合計	7,008,705	4,823,947
固定負債		
長期借入金	1,045,037	1,897,900
退職給付引当金	1,870,820	1,889,253
役員退職慰労引当金	100,207	118,531
環境対策引当金	93,872	93,872
その他	1,485,128	1,074,581
固定負債合計	4,595,067	5,074,139
負債合計	11,603,772	9,898,086
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,875,000	1,875,000
資本剰余金	1,451,395	1,451,395
利益剰余金	1,346,764	2,966,277
自己株式	7,259	7,663
株主資本合計	4,665,900	6,285,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	352,652	510,745
土地再評価差額金	1,413,032	849,567
為替換算調整勘定	148,981	424,030
その他の包括利益累計額合計	1,914,667	1,784,343
少数株主持分	200,299	203,977
純資産合計	6,780,867	8,273,329
負債純資産合計	18,384,640	18,171,416

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	7,444,406	8,489,434
売上原価	5,727,548	6,655,669
売上総利益	1,716,857	1,833,764
販売費及び一般管理費	1,650,888	2,103,086
営業利益又は営業損失(△)	65,969	269,321
営業外収益		
持分法による投資利益	46,560	14,619
為替差益	14,656	105,298
設備賃貸料	51,872	52,337
受取ロイヤリティー	68,568	66,741
助成金収入	22,822	22,556
その他	56,744	74,902
営業外収益合計	261,225	336,454
営業外費用		
支払利息	96,234	80,396
シンジケートローン手数料	2,000	26,999
その他	47,726	68,697
営業外費用合計	145,961	176,094
経常利益又は経常損失(△)	181,233	108,961
特別利益		
固定資産売却益	—	1,284,177
特別利益合計	—	1,284,177
特別損失		
固定資産除却損	1,507	1,899
クレーム対策関連費用	—	67,000
投資有価証券評価損	—	589
投資有価証券売却損	149,201	—
本社移転費用	—	18,452
事業譲渡損	—	115,591
事業構造改善費用	—	43,504
特別損失合計	150,709	247,036
税金等調整前四半期純利益	30,524	928,179
法人税、住民税及び事業税	44,534	37,942
法人税等調整額	203,205	190,629
法人税等合計	247,740	152,687
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	217,216	1,080,866
少数株主利益又は少数株主損失(△)	22,785	3,247
四半期純利益又は四半期純損失(△)	240,001	1,084,114



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	217,216	1,080,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,440	158,092
為替換算調整勘定	9,376	281,974
その他の包括利益合計	33,064	440,067
四半期包括利益	250,280	1,520,933
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	274,855	1,517,256
少数株主に係る四半期包括利益	24,575	3,677

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,719,945	2,070,176	2,654,284	7,444,406	—	7,444,406
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,506	—	19,012	29,518	29,518	—
計	2,730,451	2,070,176	2,673,297	7,473,925	29,518	7,444,406
セグメント利益	41,702	1,620	34,465	77,788	11,819	65,969

(注) 1 セグメント利益の調整額△11,819千円は、セグメント間取引消去△7,800千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△4,019千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,670,429	2,103,430	2,715,574	8,489,434	—	8,489,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,970	—	4,151	12,122	12,122	—
計	3,678,399	2,103,430	2,719,725	8,501,556	12,122	8,489,434
セグメント利益又は損失(△)	115,241	226,472	126,642	237,873	31,448	269,321

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△31,448千円は、セグメント間取引消去△2,753千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△28,694千円であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計方針の変更等」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、有形固定資産の工具、器具及び備品のうち金型について減価償却の方法を変更しております。

これにより、従来の方法によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間の「金型システム」のセグメント損失は42,372千円減少しております。